

河川環境保全シンポジウムが開催される

今年度から建設省が導入した「河川環境保全モニター制度」発足を機に、「河川環境保全シンポジウム一人と自然にやさしい川づくり」と題して、建設省の後援のもと、平成5年7月8日、東條会館において、シンポジウムを盛大に開催した。

午前中には、センターを代表して寺田理事長が開会挨拶、来賓代表として豊田建設省河川局長からご挨拶を頂戴した後、関正和建設省河川環境対策室長が「自然豊かな美しい川づくりをめざして一流域圏を意識した社会の再構築」と題して講演され、河川環境の課題と河川行政における環境の枠組みを検証し、自然との共生を図る基本的考え方を提示された。次に、国際日本文化研究センターの森岡正博氏より「地域住民の意見を吸収する意

志決定システム・モデルとは一環境倫理の視点から」と題する基調講演を頂き、流域住民の意見を効果的に吸い上げて行政に反映させるシステムを提案された。

午後からは、高島一男新潟県自然環境審議会委員、矢萩隆信多摩川水系自然保護団体協議会事務局長、工藤昇北海道開発局留萌開発建設部次長の3氏から事例報告が行われた後、ナチュラルリストの柴田敏隆氏をコーディネーターとし、事例報告の3氏、堂本泰章日本生態系保護協会専務理事、小倉紀雄東京農工大学教授、渡辺和足建設省大臣官房政策企画官をパネラーとしたパネルディスカッション「河川環境の保全と創造」が行われ、河川の環境保全と創造のために必要な行政と市民との交流・情報交換について主に討議が行われた。

平成5年度「ふるさとの川モデル事業指定・認定式」開催される

良好な水辺空間の形成を図るふるさとの川モデル事業の「指定・認定式」が平成5年6月1日、虎の門パストラルにおいて、岩井建設省河川局長をはじめとする関係者多数の出席のもとに開催された。

平成5年度は新たに6河川が「ふるさとの川モデル河川」として指定され、また、「ふるさとの川整備計画」として14河川が認定された。この結果、全部でモデル河川の指定は147河川、整備計画の認定は130河川となった。

<出版物案内>

「今、話題の水文化を語る文化誌」

月刊「FRONT」

1,600円(税、送料込み)

人が水と親しむ際の安全に対する基本認識や水に落ちたときの対処法等を紹介する

ビデオ

『着衣泳入門～水辺の事故を防ぐために～』

4,800円(税、送料込み)

企画・制作 (財)リバーフロント整備センター

上記1誌とビデオについては(財)リバーフロント整備センターに直接お問い合わせ下さい。

「多自然型建設工法の理念と実際」

『まちと水辺に豊かな自然を』 定価1,800円(税、送料込み)

編集 (財)リバーフロントセンター

発行及び申込み先 山海堂

TEL. 03-3816-1617・FAX. 03-3816-1619

わが国における多自然型川づくりの考え方と実例

『まちと水辺に豊かな自然をII』

—多自然型川づくりを考える—

定価1,980円(税、送料込み)

編著 (財)リバーフロント整備センター

発行及び申込み先 山海堂

『ふるさとの川をつくるII』

—ふるさとの川モデル事業整備計画事例集(II)—

定価6,800円(本体価格6,602円)

『ふるさとの川をつくるIII』

—ふるさとの川モデル事業整備計画事例集(III)—

定価5,300円(本体価格5,164円)

「全国で展開されている美しい水辺づくりの試み・第4弾」

『ふるさとの川をつくるIV』

—ふるさとの川モデル事業整備計画事例集(IV)—

定価5,400円(本体価格5,243円)

監修 建設省河川局

編集 (財)リバーフロント整備センター

発行 (株)大成出版社

『川を楽しむ』

—水辺の魅力再発見—

定価1,854円(税込み)

編集 (財)リバーフロント整備センター

発行 技報堂出版(株)

河川水辺の国勢調査年鑑(平成2・3年度)

『河川空間利用実態調査編(109水系)』 定価19,000円(税込み)

『魚介類調査編(63水系)』 定価9,800円(税込み)

監修 建設省河川局治水課

編集 (財)リバーフロント整備センター

発行 山海堂

『川の風景を考える』

～景観設計ガイドライン(護岸)～

定価1,980円(税込み)

編集 (財)リバーフロント整備センター

発行 山海堂



財団法人リバーフロント整備センター

〒102 東京都千代田区一番町6-4 一番町エイトワンビル6階

TEL.03-3265-7121 FAX.03-3265-7456

1993年9月1日発行